

## キルギス共和国緊急事態省

### キルギス

#### 優れた取り組み

公共団体に過酷な負担をかける自然災害や技術的な事故の脅威が増加している。自治体はキルギス共和国緊急事態省と連携しているさまざまな国の成功事例を用いて、緊急事態から国民および地域の安全を守るための本質的に新しいアプローチを考案することが必要である。この問題を解決する方法の1つは、幅広い層の国民および地域社会の参加を引き付けて、自然災害の予防や、被害を効果的に排除するための知識とスキルを維持させることである。

キルギス共和国緊急事態省の緊急事態対応のための強化準備における実際の活動として、2006年、アジア防災センターの支援を受けて、訓練資料が配布された。

1. キルギス共和国内および中央アジア諸国との国境地域において危険が発生する可能性や危険現象を監視、予測、およびその対応準備。政府、州政府、都市、地方、地域コミュニティ、住民、あらゆる関連省庁が実施する保護対策の情報を収集及び受領を意図。
2. キルギス共和国、州政府をもつ7地方、40区域、ビシュケク特別市、オシュ特別市内における緊急事態の予測およびリスク軽減に向けて、小型地図帳
3. 40の行政地方の緊急事態を予測するための大型のカラー電子地図
4. 7の州政府、最も人口密度の高い8都市、40行政地方、430の地方当局に向けた組織的援助のための「国民、地域コミュニティ、児童、学生の緊急対応準備案内」
5. 「キルギスタンと国境地域における緊急事態への準備活動および自然災害リスク（地震、地滑り、洪水、山崩れや湖の決壊、放射能環境保安）への対応プログラム」。このプログラムは投資調査に向けたものである。

キルギスの科学者、アジア防災センター（日本、神戸）、ビシュケクの中央アジア地震研究所（Central Asian Earth Research Institute）はこれまで多くの経験を培ってきた。こうした経験に基づいて、災害専門家、技術者、地質学者、緊急事態の防災・管理について責任を負う組織、作業員、設計・施工者を組織し、投資プロジェクトを具体化、援助国の協力を求めている。さらに地方自治体機関、学生、児童が緊急事態発生時に正しく行動できるように訓練している。

アジア防災センターは、監督方法および訓練方法を記した資料をセミナーで参加者に配布した。これらの資料を使用すれば、多くの緊急事態の予防、人命救助、健康に役立つ。最も脆弱なコミュニティにおいては、所定の調査に基づき、無償の救助支援業務が開始された。

危険な自然現象の監視調査を行った上で、最新のコンピュータプログラムとコンピュータ技術に基づく地理情報システム（GIS）や技術を導入した近代的調査方法を開発し使用する必要がある。一流の専門家が日本、トルコ、ドイツで、世界銀行のプロジェクト「緊急事態の予防」の範囲内において最新プログラムである Arkingo、Arkcis、ERDAS、Mapinfo を習得し、あらゆる種類の緊急事態ごとのデータベースを作成することで、高水準の予測開発の分析監視作業が可能となった。これらの技術の導入により、緊急事態を予防し整理するにあたり、秩序立てて決定をくだすことができる。